

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 主要経済指標予定 (2007年4月2日~4月6日)

発表日: 2007年3月30日(金)

~注目される日銀短観~

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 日本経済短期チーム
TEL: 03-5221-4528

<4月2日~4月6日の主なイベント、指標予定>

| | 指標名 | 当社予測 | 予測値 | 予測レンジ | 前回結果 |
|-----------|-----------------------|-------|-------|------------|--------|
| 4月2日 (月) | 8:50 日銀短観3月調査 | | | | |
| | 業況判断DI 大企業製造業(最近) | +23 | +24 | +20~+26 | +25 |
| | (先行き) | +22 | +22 | +19~+25 | +22 |
| | 大企業非製造業(最近) | +20 | +23 | +20~+24 | +22 |
| | (先行き) | +18 | +22 | +18~+25 | +20 |
| | 中小製造業(最近) | +10 | — | — | +10 |
| | (先行き) | +8 | — | — | +5 |
| | 中小非製造業(最近) | ▲5 | — | — | ▲6 |
| | (先行き) | ▲6 | — | — | ▲10 |
| | 07年度設備投資 大企業(前年比) | — | +1.7% | ▲0.6~+2.8% | — |
| 中小企業(前年比) | — | — | — | — | |
| 14:00 | 3月新車販売台数 乗用車(前年比) | — | — | — | ▲7.7% |
| | 軽乗用車(前年比) | — | — | — | +3.6% |
| 4月3日 (火) | 8:50 3月短観業種別計数及び調査全容 | | | | |
| | 8:50 3月マネタリーベース(前年比) | — | — | — | ▲21.1% |
| | 14:00 2月家計消費状況調査 | — | — | — | |
| 4月4日 (水) | 武藤日銀副総裁講演 | | | | |
| 4月5日 (木) | | | | | |
| 4月6日 (金) | 14:00 2月景気動向指数 DI一致指数 | 16.7% | 5.6% | 0.0~16.7% | 45.0% |
| | DI先行指数 | 30.0% | 30.0% | 30.0% | 40.9% |

(注) 市場予測はBloombergの調査をベースに作成

【注目ポイント】

2日公表の日銀短観(3月調査)では、大企業製造業の業況判断DI小幅悪化は既にコンセンサスとなっており、ネガティブサプライズの余地は限定的。コンセンサス通りであれば「景気は緩やかに減速している」との見方が裏付けられる。注目されるのは、今回調査から公表される2007年度設備投資計画。企業の設備投資意欲を確認する意味で重要だ。中小企業では投資計画がまだ定まっていない企業が多く、この時期の調査は低めに出る傾向にあるため、過去の同時期(3月調査)との比較をする必要がある。事前予想では、昨年3月調査時点の伸びを若干下回る程度がコンセンサスのようだ。そうなった場合には、「2007年度の設備投資は、若干減速するも好調」との見方が優勢になると思われる。なお、先日公表された法人企業景気予測調査では、2007年度設備投資計画は昨年同時期の伸びを大きく上回る強い内容だった。仮に短観でもこうした結果になれば、2007年度の設備投資はむしろ加速という上振れシナリオも現実味を帯びてくる。

その他の統計としては、3日に2月家計消費状況調査が公表される。この調査はGDPの基礎統計の一つである。2月の家計調査は強めの結果だったが、サンプル要因で強めに出ている可能性もあり、サンプル数が多い家計消費状況調査で改めて個人消費の状況を確認する必要がある。日本銀行も最近では、振れの大きい家計調査よりも家計消費状況調査の方を重視しているフシがある。

2月景気動向指数(6日公表)は、先行指数30.0%、一致指数16.7%が見込まれる。一致指数は2ヵ月連続の50%割れとなる。簡易的な判断基準として、DI一致指数が3ヵ月連続で50%を下回れば景気後退と言われることがあるため、先行きの景気後退局面入りを予想する声が増える可能性がある。

(副主任エコノミスト: 新家義貴)

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

【重要指標の当社予測とコメント】

日銀短観 3月調査 業況判断DI・大企業製造業（最近） **当社予想：+23 中央値：+24**

3月調査では、大企業・製造業の業況判断DIが小幅悪化（前回25→次回23）となる見通し。これは、電子部品の在庫調整が1～3月にかけてマイナス方向に作用するとみられることが主因である。堅調とされる企業業績を背景にした景況感に予想外の悪影響が起こっていないかが注目される。また、3月調査でははじめて2007年度の経常利益計画が示される。前年度の3月調査は2.0%の増益（2005年度3月調査1.1%）であった。その伸び率は、「企業が強気のまま」かどうかのひとつの判断基準になろう。そのほか、追加利上げを予想外と感じる企業は少なくなかったと思われるので、その影響が金融機関の貸出態度判断DIに過度に表れていないのかも次回短観で確認したい。（主席エコノミスト：熊野英生）

2月景気動向指数（先行指数／一致指数） **当社予想：30.0%/16.7% 中央値：30.0%/5.6%**

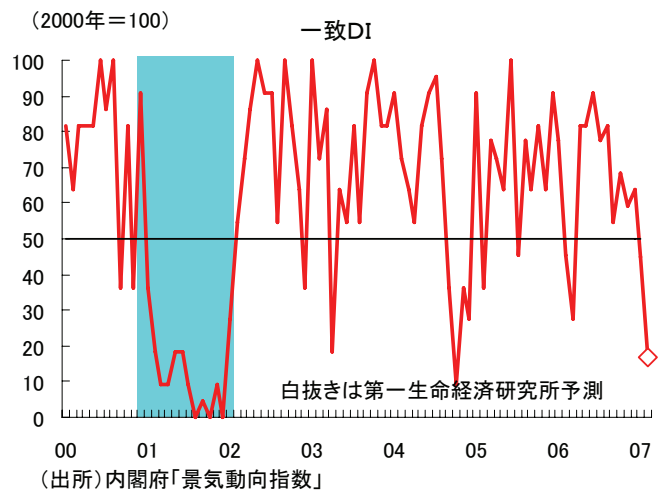
DI先行指数は10指標中3指標（最終需要財在庫率指数、東証株価指数、中小企業売上げ見通しD.I.）が3ヵ月前比改善、7指標が悪化しており、30.0%が予想される。また、DI一致指数は、9指標中1指標（製造業所定外労働時間指数）が改善、1指標（商業販売額指数（小売業））が保合い、7指標が悪化になるとみられ、DI一致指数は16.7%が予想される。DI一致指数の50%割れは2ヵ月連続。年明け以降、景気に一服感が出ていることを確認させる内容といえそうだ。

図表 1

日銀短観(2007年3月調査)の予測値

| | 業況判断DI | 業況判断DI | | | |
|-------------------------------|-------------|--------|------|----|-----|
| | | 大企業 | 中小企業 | | |
| 2006年 | 6月調査 | 18 | 15 | 2 | -12 |
| | 9月調査 | 19 | 15 | 3 | -11 |
| | 12月調査 | 21 | 17 | 7 | -7 |
| | 3月調査 | 20 | 18 | 7 | -9 |
| | 6月調査 | 21 | 20 | 7 | -6 |
| | 9月調査 | 24 | 20 | 6 | -8 |
| | 12月調査 | 25 | 22 | 10 | -6 |
| 新 べ 見 通 し (参考) | 2007年 3月調査 | 23 | 20 | 10 | -5 |
| | 先行き | 22 | 18 | 8 | -6 |
| ス | 2006年 12月調査 | 25 | 22 | 12 | -4 |

図表 2



以上

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

4月の経済指標公表スケジュール

| 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 |
|---|--|--|---|--|
| 4/2 3月日銀短観(8:50) 3月自動車販売(14:00) 3月軽自動車販売(14:00) (米)3月ISM製造業指数 (欧)3月製造業PMI | 3 3月短観業種別計数及び調査 全容(8:50) 3月マネタリーベース(8:50) 2月家計消費状況調査(14:00) 10年利付国債 (米)2月中古住宅販売保留 | 4 武藤日銀副総裁講演 (米)3月自動車販売台数 (米)2月製造業受注 (米)3月ISM非製造業指数 | 5 10年物価連動国債 (英)BOE金融政策委員会 | 6 2月景気動向指数(14:00) (米)3月雇用統計 |
| 9 3月景気ウォッチャー(14:00) 金融政策決定会合(～10日) ※(シンカホール)1-3月期実質GDP | 10 4月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) (米)3月消費者物価 (米)3月住宅着工件数 (米)3月建設許可件数 (米)3月鉱工業生産 | 11 2月機械受注(8:50) 2月国際収支(8:50) 3月マネーサプライ(8:50) 3月貸出・資金吸収(8:50) | 12 3月企業物価(8:50) 5年利付国債 (米)3月輸入物価 (米)3月財政収支 (欧)ECB理事会 | 13 2月商業販売統計・確(13:30) (米)3月生産者物価 (米)2月貿易収支 (米)4月シガン大センチ(速) |
| 16 3月投入・産出物価指数(8:50) 2月鉱工業指数・確(13:30) ※4月月例経済報告 福井日銀総裁講演 (米)3月小売売上高 (米)4月NY連銀製造業指数 (米)2月対米証券投資 (米)2月企業在庫 (米)4月NAHB住宅市場指数 | 17 2月建設総合統計(14:00) ※3月消費動向調査(14:00) 30年利付国債 (米)3月消費者物価 (米)3月住宅着工件数 (米)3月建設許可件数 (米)3月鉱工業生産 | 18 2月毎月勤労統計・確(10:30) 2月景気動向指数改訂(14:00) | 19 4月ロイター短観(8:30) 2月第3次産業活動指数(8:50) ※3月全国百貨店売上高(14:30) 福井日銀総裁講演 (米)3月景気先行指数 (米)4月7行連銀指数 (中国)1-3月期実質GDP | 20 2月全産業活動指数(8:50) 3月コンビニエンスストア統計(16:00) |
| 23 ※3月チェーンストア販売統計 ※(韓国)1-3月期実質GDP | 24 3月CSPI(8:50) 20年利付国債 ※企業行動に関するアンケート調査 (米)4月リッチメント連銀指数 (米)3月中古住宅販売件数 | 25 ※3月貿易統計(8:50) ※4月主要銀行貸出アンケート調査(8:50) (米)3月耐久財受注 (米)3月新築住宅販売件数 (独)4月Ifo景況感指数 (英)1-3月期実質GDP | 26 2年利付国債 (米)3月求人広告件数 | 27 3月消費者物価・全(8:30) 4月消費者物価・都(8:30) 3月労働力調査(8:30) 3月一般職業紹介状況(8:30) 3月家計調査(8:30) 3月鉱工業指数(8:50) 3月商業販売統計(8:50) 3月住宅着工統計(14:00) 4月BOJ展望レポート(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) 金融政策決定会合 (米)1-3月期実質GDP(改定値) (米)1-3月期雇用コスト指数 (米)4月シガン大センチ(確) |
| 30 (米)3月個人所得・消費 (米)4月シカゴPMI (米)3月建設支出 (欧)4月消費者物価(速) | 5/1 3月毎月勤労統計(10:30) 4月自動車販売(14:00) 4月軽自動車販売(14:00) (米)3月中古住宅販売保留 (米)4月ISM製造業指数 | 2 4月マネタリーベース(8:50) (米)4月自動車販売台数総計 (米)3月製造業受注 (欧)4月製造業PMI | 3 (米)4月ISM非製造業指数 (米)1-3月期非農業部門労働生産性 | 4 (米)4月雇用統計 |

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

5月の経済指標公表スケジュール

| 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 |
|---|---|--|--|---|
| 30 (米)3月個人所得・消費 (米)4月シカゴPMI (米)3月建設支出 (欧)4月消費者物価(速) | 5/1 3月毎月勤労統計(10:30) 4月自動車販売(14:00) 4月軽自動車販売(14:00) (米)3月中古住宅販売保留 (米)4月ISM製造業指数 | 2 4月マネタリーベース(8:50) (米)4月自動車販売台数総計 (米)3月製造業受注 (欧)4月製造業PMI | 3 (米)4月ISM非製造業指数 (米)1-3月期非農業部門労働生産性 | 4 (米)4月雇用統計 |
| 7 金融政策決定会合議事要旨 (3月19・20日分)(14:00) | 8 3月家計消費状況調査(14:00) ※4月景気ウォッチャー 10年利付国債 (米)3月卸売在庫 | 9 ※3月景気動向指数(14:00) (米)FOMC | 10 4月マネーサプライ(8:50) 4月貸出・資金吸収(8:50) (米)3月貿易収支 (米)4月輸入物価 (米)4月財政収支 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策委員会 | 11 ※3月機械受注(8:50) (米)4月生産者物価 (米)4月小売売上高 (米)3月企業在庫 |
| 14 3月国際収支(8:50) 4月企業物価(8:50) | 15 5年利付国債 ※4月消費動向調査(14:00) (米)4月消費者物価 (米)5月NY連銀製造業指数 (米)3月対米証券投資 (米)5月NAHB住宅指数 (欧)1-3月期実質GDP (独)1-3月期実質GDP (仏)1-3月期実質GDP (伊)1-3月期実質GDP ※(インドネシア)1-3月期実質GDP | 16 4月投入・産出物価指数(8:50) 3月鉱工業指数・確(13:30) 3月商業販売統計・確(13:30) 金融政策決定会合(～17日) (米)4月住宅着工件数 (米)4月建設許可件数 (米)4月鉱工業生産 | 17 5月ロイター短観(8:30) ※1-3月期GDP速報(8:50) 5月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) ※5月月例経済報告 (米)4月景気先行指数 | 18 3月第3次産業活動指数(8:50) 3月建設総合統計(14:00) 3月毎月勤労統計・確(10:30) ※3月景気動向指数改訂 (14:00) ※4月全国百貨店売上高 (14:30) (米)5月シカンズセンチ(速) (香港)1-3月期実質GDP |
| 21 4月コンビニエンスストア統計(16:00) ※06年3月市街地価格指数 (10:00) | 22 金融政策決定会合議事要旨 (4月9・10日分) ※4月チェーンストア販売統計 15年変動利付国債 (台湾)1-3月期実質GDP ※(マレーシア)1-3月期実質GDP | 23 3月全産業活動指数(8:50) | 24 20年利付国債 ※4月貿易統計(8:50) (米)4月耐久財受注 (米)4月新築住宅販売件数 (米)4月中古住宅販売件数 (独)IFO景況感指数 | 25 4月消費者物価・全(8:30) 5月消費者物価・都(8:30) |
| 28 4月CSPI(8:50) | 29 4月労働力調査(8:30) 4月一般職業紹介状況(8:30) 4月家計調査(8:30) 4月商業販売統計(8:50) 2年利付国債 | 30 4月鉱工業指数(8:50) | 31 4月住宅着工統計(14:00) 4月毎月勤労統計(10:30) (米)1-3月期実質GDP(速) (米)5月シカゴPMI (米)4月建設支出 (米)4月求人広告指数 (欧)5月消費者物価(速) (インド)1-3月期実質GDP (フィリピン)1-3月期実質GDP | 6/1 5月自動車販売(14:00) 5月軽自動車販売(14:00) 4月消費状況調査(14:00) (米)4月個人所得・消費 (米)4月PCEデフレーター (米)4月中古住宅販売保留 (米)5月ISM製造業指数 (米)5月シカンズセンチ(確) (米)5月自動車販売 (米)5月雇用統計 |

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。